

一宮町長
馬淵 昌也

1月9日の成人式に際して、前日の夕刻に急遽中止の決定を行い、新成人の皆さん、ご家族の皆さんはじめ、関係者の皆さんに、大変なご迷惑を差し上げましたこと、町長として、心よりお詫びを申し上げます。皆さん、お召し物など、ご準備も大変でいらっしやうと存じます。それを突然中止して、晴れ舞台を奪うこととなってしまいました。まことに申し訳ありませんでした。

成人式前日8日の午後、2人の新規陽性者の知らせを受け、成人式実行委員会の方々に、会の開催の可否について議論して頂くことになりました。その最中、3人目の陽性の知らせが入りました。一宮町では、9月11日以来の新規陽性者の報告でした。

私は、2年ほどのコロナとの格闘の中で、一宮町でいきなり3人、相互に関係のない方に陽性が出るということとは、過去に前例のないことで、すでにウイルスが相当程度町内に侵入しており、これから急激な感染拡大が occurすることを強く感じました。実際に、次の日に4名の陽性が保健所から発表になったのち、一宮町では一日に9名、9名、10名、14名と、劇的に陽性

者数が増加したことは、ご存知の通りです。

こうした激増を強く予感しましたので、感染防止の手立てを強化して、成人式開催の可能性を探りました。しかし、最終的に、式の前後における接触を避ける見通しが十分立たなかつたことから、私が実行委員会の皆さんにお願いをして、ご了承いただいた上で、中止の決定をいたしました。

感染拡大防止という観点からすれば、今回の中止決定は、緊急避難として、やむをえない選択であったと考えます。しかし一方、事前に簡易検査キットを配布するなどの、より周到な対策をとっていれば、開催も可能であったと思います。この点については、私の警戒意識、想像力の不十分さによるものであったと痛感しています。本当に申し訳ありませんでした。

今後ですが、実行委員会の皆さんとも相談いたしました。コロナの動向を見定めながら、新成人の皆さんのお祝いを、行政として改めて企画し、実施いたしたいと考えております。是非とも町民の皆様にも更なるご支援をお願い申し上げます。ごうございまして、よろしくお願い申し上げます。